

※1 BPR:業務効率や生産性向上に向け、業務の流れや仕組みを全面的に再構築すること。

◆区財政について

①今後の区財政の見直しと対応は。②BPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)手法を活用した事務改善の取り組み状況は。③会計年度任用職員制度の準備状況と対象者数、財政負担の推計値は。④児童遊園を禁煙に

区長

①減収が続く。第2次ビジョンとそれに基づく今年度予算を着実に実行。企画

◆教育・子育てについて

①ICT機器導入モデル校での成果と、その利活用の方法は。②児童生徒へ早急にタブレットパソコンを。③プログラミング教育導入への対応は。④視力低下、ゲーム依

◆区長の基本姿勢について

①児童虐待では関係機関とどのように連携するのか。②これからの保育行政の展望は。③全世代型社会保障の区長の考えは。④中・高年のひきこもりの対応は。

区長

①都と連携し新しい児童相談体制を構築。②多様な教育・保育サービスを選択できる環境づくり等が不可欠。③ビジョンに基づく施策を着実に進める。④昨年80

◆教育環境の整備について

①子どもの交通安全対策の推進を。②危険なブロック塀の対策として助成制度を。教育長

副区長

①学校安全対策指針の見直しに着手等。副区長

◆認知症対策について

①地域包括支援センター

◆防災・防犯について

①改訂版「防災の手引き」の内容と周知は。②防犯カメラ維持管理への補助充実を。③川崎市の事件への考えは。副区長

副区長

①ブロック塀の安全対策等。地域の訓練で使用等。都新設の制度活用で町会・

存症防止対策は。⑤「小学校外国語科」特別の教科「道徳」実施への準備体制は。⑥幼児教育無償化による区への影響額は。⑦無償化に伴う食料費の補助は区立の水準に統一し、私立保育園、幼稚園にも支援策を実施すべき。考えは。教育長

◆子育て支援策について

①保育所定員の細やかな情報提供を。②保育所の給食費に補助を。③私立幼稚園の入園料等に補助を。④次期子ども・子育て支援事業計画に働き方の多様化に対応した施策を。⑤学童クラブ待機児童に対する取り組みのさらなる

◆子育て支援策について

①施設や運営状況のきめ細かな情報提供に努める。②現行の対応を継続。③補助制度を検討。④安心して子どもを産み育てられる環境等の実現を目指す。⑤ねりっこクラブの早期全校実施を目指す等。副区長

◆認知症対策について

①地域包括支援センター

こんな時代だからこそ着実な一歩で街づくり

練馬区議会自由民主党 小泉 純二

準備時間が減少した等の感想。全教員が活用事例を入手できる環境を整備等。②来年度から順次配備。③指導用教材の整備等。④児童生徒に対する指導を充実等。⑤教員研修の充実等。「道徳」は学習指導要領踏まえ適切な授業が行われるよう指導。⑥約2億円の負担減と試算。⑦私立幼稚園

自治会は12分の1、商店会は6分の1の負担。教育長

学校内外で子どもたちの命と安全を守るため具体的対策検討

◆介護保険・高齢者施策について

①特別養護老人ホーム職員確保の対応は。②離職防止のため、介護従事者、有資格者の登録、相談支援のための

と物忘れ相談医の連携強化を。②家族の異変を感じた時の相談体制の強化を。③認知症グループホーム利用に家賃・食事の補助を。

◆子育て支援策について

①実態調査の結果から、認知機能低下が疑われる方をセンターが訪問し、受診につなげる。②地域支援推進

員が専門病院と連携。③実施自治体の状況を参考に研究等。

◆バリアフリー化について

①駅と病院・医療施設を結ぶ経路のバリアフリー化を。②商業施設等のバリアフリー情報の発信を。③バリアフリーについて気軽に相談できる窓口の設置を。④オリ・パラ教育を通じ、さらなる心のバ

材バンクの設置を。③在宅療養は、医療・介護資源の現状把握後、課題へアプローチを。④「就職氷河期世代活躍支援プラン」の対象者の把握に力を注ぐべき。考えは。副区長

①資格取得研修の受講料助成拡充等。②登録者確保に課題。さらなる相談機能強化を検討。③今年度、区内全医療機関等対象に状況把握のため調査を実施等。④調査方法の工夫等で把握に努める。

◆「まちづくり条例」について

①改正議案の趣旨は。②区民、事業者の要望踏まえた見直し、実情に即した運用を。副区長

①シェアハウス建設等の基準の見直し等を行うもの。②実情に応じた条例の適正な運用に努める。

◆中小企業振興について

①区内中小企業の生産性向上への支援を。所見は。②区プレミアム付商品券事業の内容は。③事業承継の相談窓口体制や今後の取り組みは。副区長

①引き続き設備投資等の取り組みを支援。②低所得者と子育て世帯対象にプレミアム率25%の商品券を区が発行。③ビジネスサポートセンターの経営相談、アドバイザリー派遣事業等を活用し支援

一般質問(要約)

◆公共交通安全白地改善計画

①公共交通空白地域改善の進捗は。②みどりバスを全ルート増便・最終バスの時間延長・年末年始の運行を。③乗り合いタクシー・デマンド交通の導入を。④バス停留所に上屋とベンチの増設を。副区長

①みどりバスルート再編は関係機関と協議等。②運行方法の工夫による増便等を提案中。③新たな交通手段の可能性検討。④事業者が可能な場所からの整備を働きかけ。

◆防犯対策について

①予知防犯対策導入を。②車載カメラ設置車両にパトロールプレートを。③特殊詐欺対策として自動通話録音機能貸与窓口拡充と周知を。④学校安全対策強化と防犯教育の推進を。⑤防犯カメラ増設を。副区長

①講習会等で普及啓発。②さらに協定団体を増やす。③窓口を消費生活センター等に拡充。民生委員通じ周知等。教育長

④学校安全対策指針の見直しに着手。より効果的な防犯教育に取り組み。⑤都の補助事業再開踏まえより有効な設置に取り組み等。

◆障がい者施策について

①医療的ケア児の施設受け入れ体制強化を。②身近な場所に医療的ケア児短期入所

所を開設、定員630人増加等。教育長

②練馬こどもカフェ創設等育児サービスを充実。③多様な教育・保育サービスを

選択できる環境づくり等が不可欠。長期的視点から検討。副区長

①引き続き設備投資等の取り組みを支援。②低所得者と子育て世帯対象にプレミアム率25%の商品券を区が発行。③ビジネスサポートセンターの経営相談、アドバイザリー派遣事業等を活用し支援

◆地下鉄大江戸線延伸について

①都との実務的な協議状況と今後は。②補助20号線の取り組み状況は。③区が目指

る施設には特定屋外喫煙場所・障がい者家族のケアを。④障がい者の避難訓練等実施を。副区長

①医療的ケア児支援の協議開始。②医療機関と整備に向け協議中。③区立障害者施設の機能見直し。④今年度安全確認訓練を試行実施等。

◆交通安全対策について

①高齢ドライバーの免許自主返納推進対策を。②高齢者にASV車購入支援を。副区長

①高齢ドライバーの免許自主返納推進対策を。②高齢者にASV車購入支援を。副区長

◆子ども安全対策強化と障がい者施策推進を

①区長の決意は。②静水会体育館跡地は区民意見を生かし整備を。③住民管理で公園の利活用を。④農地を外国人向け観光資源として活用を。副区長

①みどりを次世代に引き継ぐのが重要な責務。土木

②具体的な活用策検討。③仕組みづくりを検討。都市農業

④世界都市農業サミット開催に合わせ都市農業の魅力発信

地下鉄大江戸線延伸 都と実務的協議状況は

練馬区議会自由民主党 かしわざき 強

①多くの農業者が関わることで取り組みを。所見は。副区長

①練馬の都市農業の魅力と可能性を世界に発信等。②国際会議運営を農業者中心に準備、直売所でPR等。

◆東京2020大会に向けた機運醸成と大泉学園町希望が丘公園について

①射撃競技の概要・観客数の想定は。②競技場建設工事の本格化は。③機運醸成の

る施設には特定屋外喫煙場所・障がい者家族のケアを。④障がい者の避難訓練等実施を。副区長

①医療的ケア児支援の協議開始。②医療機関と整備に向け協議中。③区立障害者施設の機能見直し。④今年度安全確認訓練を試行実施等。

◆交通安全対策について

①高齢ドライバーの免許自主返納推進対策を。②高齢者にASV車購入支援を。副区長

①高齢ドライバーの免許自主返納推進対策を。②高齢者にASV車購入支援を。副区長

◆子ども安全対策強化と障がい者施策推進を

①区長の決意は。②静水会体育館跡地は区民意見を生かし整備を。③住民管理で公園の利活用を。④農地を外国人向け観光資源として活用を。副区長

①みどりを次世代に引き継ぐのが重要な責務。土木

②具体的な活用策検討。③仕組みづくりを検討。都市農業

④世界都市農業サミット開催に合わせ都市農業の魅力発信

◆子ども安全対策強化と障がい者施策推進を

①区長の決意は。②静水会体育館跡地は区民意見を生かし整備を。③住民管理で公園の利活用を。④農地を外国人向け観光資源として活用を。副区長

①みどりを次世代に引き継ぐのが重要な責務。土木

②具体的な活用策検討。③仕組みづくりを検討。都市農業

④世界都市農業サミット開催に合わせ都市農業の魅力発信

◆子ども安全対策強化と障がい者施策推進を

①区長の決意は。②静水会体育館跡地は区民意見を生かし整備を。③住民管理で公園の利活用を。④農地を外国人向け観光資源として活用を。副区長

ため、スポーツ振興、地域活性化事業への支援を。所見は。副区長

④区内を走る聖火リレーは地域色を活かした盛り上がりのあるもの。所見は。副区長

⑤大泉学園町希望が丘公園整備工事の進捗状況は。⑥多目的運動広場完成を祝って区主催のイベントを。所見は。副区長

⑦大泉学園駅からの交通利用促進についての所見は。また公園の第II期整備のスケジュールは。副区長

①陸上自衛隊朝霞訓練場で15種目等。観客数は精査中。②今年7月。③リフレット提供等で祭り等の賑わい創出を支援。④練馬区ならではの心のこもった歓迎等を検討。⑤グラウンドの基礎となる造成工事中。⑥スポーツイベントを検討。⑦区ホームページ等で案内等。今年度屋根付き広場等の建築工事行い、令和3年度の完成を目指す。副区長

◆持続可能な町会・自治会運営について

①都の加入促進事業のさらなる周知を。②運営マニュアルの作成を。③他団体との連携支援を。④特筆すべき成果を上げた団体の表彰制度を。副区長

①事例の紹介等で事業周知。②今年度町会連合会と協働で作成。③連携・協力事例等を発表等。④検討。

◆みどり施策について

①区長の決意は。②静水会体育館跡地は区民意見を生かし整備を。③住民管理で公園の利活用を。④農地を外国人向け観光資源として活用を。副区長

①みどりを次世代に引き継ぐのが重要な責務。土木

②具体的な活用策検討。③仕組みづくりを検討。都市農業

④世界都市農業サミット開催に合わせ都市農業の魅力発信

◆子ども安全対策強化と障がい者施策推進を

①区長の決意は。②静水会体育館跡地は区民意見を生かし整備を。③住民管理で公園の利活用を。④農地を外国人向け観光資源として活用を。副区長

①みどりを次世代に引き継ぐのが重要な責務。土木

②具体的な活用策検討。③仕組みづくりを検討。都市農業

④世界都市農業サミット開催に合わせ都市農業の魅力発信

◆消費税増税について

◆国に応能負担の原則に立った公平な税制と、10月からの消費税増税中止を求めよ。

◆消費増税は必要かつやむを得ないものと認識。中止を求める考えはない。

◆ヘイトスピーチ対策について

◆区立施設がヘイトスピーチをする人物に使われた。ヘイトスピーチをどう認識しているか。

◆幼保教育・保育「無償化」について

◆実費負担が残る食料材料費も無償化を国に求め、できない場合は区が負担せよ。

◆西武新宿線の連続立体交差化と沿線まちづくりについて

◆高架方式採用について、地権者に迅速かつ丁寧な説明を。

◆区政の最重要課題の一つとして積極的に取り組む

◆水災害対策について

◆河川整備の進捗状況や浸水被害想定地区への取り組みは。

◆区立小中学校の改修策について

◆長寿命化の適否をどう

◆区立小中学校の改修策について

◆長寿命化の適否をどう

◆長寿命化の適否をどう

◆小中学校の教育負担について

◆国に給食費無償化を求めよ。

◆保育の質等確保に努める考えはない。

◆保育園の待機児解消について

◆97%の保護者が認可園を希望。

◆認可保育園の整備目標の引き上げを。

◆質・量ともに最大限の対策を講じてきた事実を認識いただきたい。

◆購入補助制度を創設せよ。

◆必要に応じ充実を要望。

◆改築は、工事内容も改める必要がある。

◆体育館の空調設備設置校選定方法と工事の進め方は。

◆建物劣化状況等総合的視点で検討。

◆喫煙目的の離席禁止等

◆商店街振興について

◆商店会数、会員店舗数の状況は。

◆プレミアム付商品

◆プレミアム付商品

◆西武新宿線立体化について

◆立体化の在り方は、住民の意向に沿ったものにせよ。

◆鉄道会社の事業負担は15%のみ。在り方を見直せ。

◆説明会等通じ計画を周知し意見を聞く。

◆安全で快適なまちづくりを実現する重要な公共事業。

◆みどりバスについて

◆全てのルートで利用の多い時間帯の増便を。

◆運行方法の工夫による増便等を提案中。

◆区への支援の増進を求めよ。

◆補聴器購入の助成について

◆国・都に購入補助制度の創設を求めよ。

◆補聴器に関わる情報の発信を。

◆区として購入補助制度を創設せよ。

◆必要に応じ充実を要望。

◆改築は、工事内容も改める必要がある。

◆体育館の空調設備設置校選定方法と工事の進め方は。

◆建物劣化状況等総合的視点で検討。

◆区長の基本姿勢について

◆区長の「参加から協働へ」の思いと、インフラ整備、まちづくりでの区民意見反映は。

◆具体的な取り組みを進めてきた。さらに区政全般に広げる。

◆地域文化

◆美術館等で区ゆかりの漫画家に関する展覧会を開催。

◆映像文化のまち構想を策定し、区の文化的特徴を生かした取り組みを進める。

◆アニメの観光施策について

◆他の自治体との連携を。

◆財政について

◆都市インフラ整備等には、少子高齢化時代を踏まえた観点も必要。

◆人口増による税収が拡大している今だからこそ検討を。所見は。

◆社会情勢等の変化に応じ事業計画を見直すことは行政運営の基本。

◆毎年度の予算編成時等に適宜見直しを行う。

◆練馬独自の文化施策

◆世界的にアートと認識を向上させるものではない。

◆世界的にアートと認識を向上させるものではない。

◆世界的にアートと認識を向上させるものではない。

◆区民と共に新しい時代の、新しい政治を

◆放射線読本について

◆文科省が小中学校と高校に配布したが、放射線について

◆区内で発生した重篤患者の救命率向上に向けて、区内初の三次救急病院を順天堂練馬病院に整備すべきと考え

◆国民健康保険について

◆オプジーボやキムリア

◆未来の課題に対し現実的かつ建設的な議論を

◆選挙啓発について

◆今回の練馬区議選の投票率をどう分析しているか。

◆SNS等の啓発効果をどう考えているか。

◆若年層が低く、年齢とともに上昇。

※3 CM「Construction Management」の略。発注者の補助者・代行者が、技術的な中立性を保ち「発注者の側に立ち、設計、工程管理、コスト管

※4 ソーシャルインクルージョン：社会的に弱い立場にある人々を排除するのではなく、社会の構成員として包みこむという考え方。

性的マイノリティについて
① パートナーシップ制度について「現実的な効果が不明」という区民の考えは変わらないのか。理由は。② 性自認等を理由に結婚が認められない現状は差別ではないか。見解を。③ 区は同性婚が法制化されるよう働きかけを。④ 現在の男女共同参画計画における性的マイノリティの人権擁護について区の評価は。⑤ 学校で生徒が標準服の着用を拒否した場合、着用しないことを認めるのか。⑥ 性別や理由を問わず申請なしでスカート・スラックスの着用を認めよ。

政治はマイノリティのためにこそ！
市民の声ねりま 岩瀬 たけし
① 外国籍児童を捕捉し支援できる仕組みの構築を。② ソーシャルインクルージョンの考えとこれまでの取り組みは。③ ささまざまな人権課題について徹底するものを条例に。④ 住民基本台帳と学齢簿のシステム連携で就学意向把握。今後就学支援の在り方研究。

一人ひとりの暮らしが良くなる区政に
生活者ネットワーク やない 克子
① 保健相談所で周知啓発等。化学物質過敏症についてホームページ等を通じ周知予定。② 求める考えはない。③ 香りの害に特化した情報提供は考えていない。

自殺対策について
① 全国や都の自殺死亡率の減少傾向と比べて練馬区の減少率が低い。見解は。② 男性が相談しやすい環境づくりをどう進めるのか。③ 若い世代に対する自殺対策はどう取り組むのか。④ 高齢者の自殺死亡率が高い現状をどう捉えているか。また支援体制は。

将来に希望を持てる地域社会の実現を
市民ふくしフォーラム かとうぎ 桜子
① 住まい確保支援事業で入居相談や物件情報提供等。② 都は区の活動を支援等、区は都開催の情報交換会等に参加し支援方法を検討等。③ バリアフリーマップの検索システムの実現や民間商業施設等の情報との連携等、分かりやすい情報発信の工夫を。

障害者福祉について
① 障害の重い人も体調に依り活動できる場について検討する場を。② 体系的・包括的に手話施策の充実を進めるため、方針を定め検証の場を。③ バリアフリーマップの検索システムの実現や民間商業施設等の情報との連携等、分かりやすい情報発信の工夫を。

高齢者福祉について
① 高齢者向け食事サービスは食数を3食から増やし、しやすい情報発信の工夫を。

区長の基本姿勢について
区内でも講演会や街頭宣伝等へイトスピーチが行われ警察が出動した。どのような姿勢で対処するのか。
① 差別落書きへの対応等。人権尊重に係る取り組みを実施。公の施設は利用目的等の観点から利用の可否を判断等。
② 都心上空を低空飛行する新ルートについて
① ようやく「教室型」説明会が開かれた。計画そのものを知らない区民も多い。今後教室型説明会開催を国に要望せよ。② 参加できなかった区民のために質問と回答を公開すべき。③ 落下物対策を強化してもゼロにはならない。国に計画見直しを求めるべき。
④ 丁寧な説明とさらなる周知徹底を求める。⑤ 早期公表を国に求める。⑥ 対策の確実な実施等を求める。機能

一人ひとりの暮らしが良くなる区政に
生活者ネットワーク やない 克子
① 保健相談所で周知啓発等。化学物質過敏症についてホームページ等を通じ周知予定。② 求める考えはない。③ 香りの害に特化した情報提供は考えていない。

一般質問(要約)

区長の基本姿勢について
区内でも講演会や街頭宣伝等へイトスピーチが行われ警察が出動した。どのような姿勢で対処するのか。
① 差別落書きへの対応等。人権尊重に係る取り組みを実施。公の施設は利用目的等の観点から利用の可否を判断等。
② 都心上空を低空飛行する新ルートについて
① ようやく「教室型」説明会が開かれた。計画そのものを知らない区民も多い。今後教室型説明会開催を国に要望せよ。② 参加できなかった区民のために質問と回答を公開すべき。③ 落下物対策を強化してもゼロにはならない。国に計画見直しを求めるべき。
④ 丁寧な説明とさらなる周知徹底を求める。⑤ 早期公表を国に求める。⑥ 対策の確実な実施等を求める。機能

一人ひとりの暮らしが良くなる区政に
生活者ネットワーク やない 克子
① 保健相談所で周知啓発等。化学物質過敏症についてホームページ等を通じ周知予定。② 求める考えはない。③ 香りの害に特化した情報提供は考えていない。

議場の議席表

Table with columns for 書記席, 議長席, 演壇, 理事者席, and 傍聴席(階上). Rows list names and numbers of council members.

Legend table for political parties: 練馬区議会自由民主党, 練馬区議会立憲民主党, 生活者ネットワーク, 市民ふくしフォーラム, 練馬区議会公明党, 練馬区議会未来会議, 都民ファーストの会練馬区議団, 練馬区民の会, 日本共産党練馬区議団, 市民の声ねりま, オンブズマン練馬.

一般質問は、6月17日・18日・19日の3日間、11人の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会後、おおむね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧いただけます。ぜひご利用ください。